

# 注 意 事 項

## I. 競技審判上の注意

### 1) 競技規則・審判に関する事項

1. 本大会は、平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程および同公認審判員規程ならびに本連盟大会運営規程により運営する。
2. 競技中の服装は、白色または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣背面中央に開催要項に示された表示をすること。ゼッケンを着用する場合は四隅をピンで留めるものとする。
3. すべてのゲーム中に一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。選手は、主審の「20秒」のコールでコートインすること。
4. シャトル交換やタオルの使用等については、必ず主審の許可を得ること。
5. 競技中の水分補給を認めるが、容器はふた付きのものに限る。
6. 試合中にケガや病気などが生じた場合には、主審の判断によりレフェリーを呼ぶ。また、レフェリーは、必要に応じてその他の人をコートに呼び対処する。
7. 審判台の側に用意されたカゴには、タオル・交換用ラケット・水分補給用容器のみをいれるものとする。
8. プレーヤーが認められているインターバル以外で助言を受けたり、体力や息切れのを回復を図るための遅延行為を行った場合、また、不品行や不快な振る舞いを行った場合には厳正に対処する。
9. マッチ(試合)中のコート又はコート周辺でプレーヤーの携帯電話が鳴った場合は、競技規則第16条第6項(4)の違反とみなす。
10. モバイル機器(iPad・携帯電話等)による試合中のアドバイス・コーチングを禁止する。
11. 連続して試合に入る場合は、最小15分の空き時間を設ける。
12. 試合の進行は、タイムテーブル2段目以降をスライド方式により行う。試合のコール後、10分経過しても当該選手がコートに入らない場合は、レフェリーの判断により「棄権」とみなすことがある。
13. 試合進行によっては試合順が前後する場合がある。放送に注意すること。

### 2) 競技方法

1. 各ブロック5チームによるリーグ戦とする。
2. 試合は21点3ゲーム、延長なしとする。

### 3) リーグ戦での順位決定方法

1. 取得マッチ率の高いチームを上位とする。
2. 勝敗が同一の場合には、全試合での取得ゲーム率の高いチームを上位とする。
3. 取得ゲーム率が同一の場合には、全試合での取得ポイント率の高いチームを上位とする。
4. 取得ポイント率が同一の場合には、当該チーム間の勝敗により決定する。

### 4) その他

1. 監督は、各競技日ごとに必ず受付をすること。
2. オーダー用紙は、受付時に配布します。
3. 8日、タイムテーブル1段目のチームは、AM10:00までにオーダー用紙を本部に提出すること。
4. 9日、タイムテーブル1段目のチームは、AM8:40までにオーダー用紙を本部に提出すること。

5. 両日とも2段目以降は、各試合開始予定の30分前までにオーダー用紙を本部に提出すること。
6. 選手は試合の進行に注意し、コールに従って選手待機所に集合する。
7. 競技開始前の練習は、各対戦ごと2分間とする。
8. アリーナ内へは、監督・選手以外は立ち入らないこと。
9. 審判は、すべて相互審判とする。
10. 競技中の事故等への応急処置は行うが、以後の責任は、主催者側加入保険内での対応とする。
11. 参加選手はスポーツ安全保険(C)に加入しておくことが望ましい。
12. 大会結果・写真等ホームページに提供記載される。

## II. 組合せ

1. 組合せは、事前にレフェリーと本連盟普及開発本部が行う。

## III. 選手変更・棄権の確認

1. 選手の変更は所定の用紙により、当日受付時まで提出する。

## IV. 会場使用上の注意

1. ゴミは各自持ち帰ること。
2. アリーナ内は、競技中の水分補給以外は飲食厳禁とする。
3. 館内の器具等の無断使用及び他施設への立入を禁止する。
4. 館内は全面禁煙。喫煙は館外の所定の場所で行うこと。
5. 会場内のコンセント使用を禁止する。
6. 貴重品他、持ち物については各自で管理すること。盗難等がおきても主催者側では責任を負わない。
7. 通路・エントランスホールでのランニング・ウォーミングアップ等を禁止する。
8. 館内では必ず上下の靴の履き替えを行うこと。会場入り口下駄箱の使用は禁止する。